

研究発表会

TAMAサイエンスフェスティバルに参加しました

SSH
Super Science High School

2025年11月2日 場所：東京薬科大学

11月2日（日）、東京薬科大学の八王子キャンパスで開催された、「**TAMAサイエンスフェスティバル in TOYAKU 2025**」に本校生徒が6名参加しました。

本イベントは、中学生・高校生を対象に、「生物・化学をはじめとした生命科学分野の研究発表」を行う場として企画されているものです。会場では、専門教員や大学院生、他校の生徒との活発な意見交換が行われ、発表者・聴講者ともに研究内容への理解を深める様子が見られました。

また、会場内の議論を特に盛り上げた参加者を表彰する「ベストディスカッサー賞」の取り組みもあり、**生徒たちは他校の発表に対して積極的に質問を投げかけていました**。質問を通して自らの探究に生かそうとする姿勢が随所に見られ、非常に実りある学びの時間となりました。

さらに、同じ会場では東京薬科大学の大学院生による研究発表も行われており、**生徒にとっては「大学での研究活動」を身近に感じる貴重な機会**となりました。研究設備や発表の進め方など、普段の学校生活ではなかなか触れることのない大学レベルの探究に触れ、生徒たちは大きな刺激を受けていました。

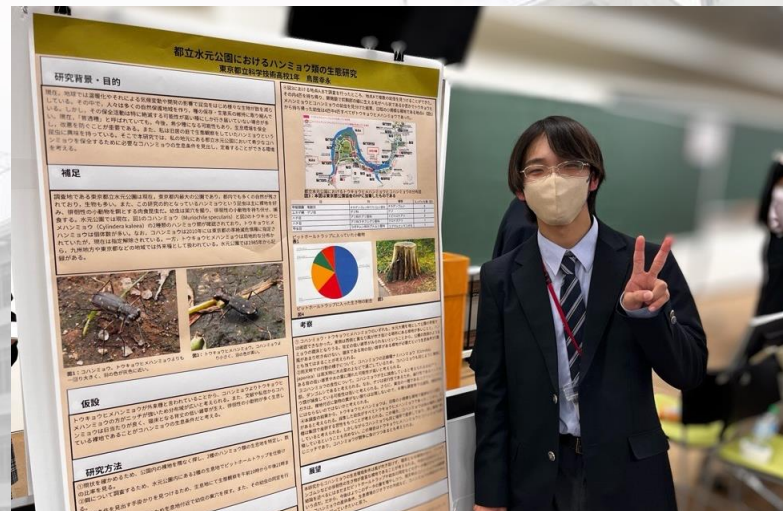
生徒の感想

・実際に大学で研究している方の発表を聞いて、とても刺激的でした。自分の研究とは規模も深さも違いましたが、**「研究は身近な疑問から始まる」という点では共通しており**、探究活動へのモチベーションが高まりました。

・他校の発表に質問するのは勇気がいりましたが、質問を通して理解が深まることを実感しました。**発表を「聞く」だけでなく「対話する」ことが**、学びをより広げるのだと感じました。大学院生の発表を見て、将来は自分もこうした場で研究を発表できるようになりたいと思いました。

・実験やデータ整理の工夫など、**今後の学校での探究活動にも役立ちそうなヒント**をたくさん得ることができました。

本校では授業や校外研修で発表やグループ活動、プレゼンの機会を多く設けています。1年生は入学して半年ですが、正々堂々と発表、質問できるようになりました。



発表の様子